

専門医コースレクチャー

9月14日（金） 13:00～17:00

第2会場 萩

今年の11月10日(土)に第1回心臓血管麻酔専門医認定試験が実施されます。実際の試験問題の作成に関与する試験問題作成委員、学術委員を中心に試験実施を念頭におき、コースレクチャーを行います。講義の中でそれぞれの部門におけるポイントを習得いただき、試験対策としてご活用ください。

TEE セミナー 1

9月15日（土） 14:00～16:50

第3会場 橘

山田 達也（慶應義塾大学医学部 麻酔学教室）

夜久 均（京都市立医科大学大学院 医学研究科 心臓血管外科学）

本 TEE ワークショップは心筋虚血と TEE についての講演です。手術適応や術式について論議がある虚血性僧帽弁逆流について、心臓血管外科と麻酔科の立場から講演をしていただきます。また、CABG の麻酔管理について、on-pump と off-pump についてのそれぞれのポイントを押さえた講演をして頂きます。

TEE セミナー 2

9月16日（日） 9:00～11:00

第3会場 橘

岡本 浩嗣（北里大学医学部 麻酔科学）

高梨 秀一郎（榊原記念病院 心臓血管外科）

心臓血管外科領域では弁形成術が僧帽弁手術の主流を占めている。最近はリング形態の改善や人工腱索のマテリアルの新開発や術式のさまざまな工夫により、単純逸脱病変では治癒率90%以上死亡率1%以下の成績を誇っている。一方大動脈弁形成術においても EL Khoury らを中心とした外科医の活躍により2000年代になってから急速に発展して来ており、大動脈弁輪専用のリングさえも開発されている。10年20年後の遠隔成績が待たれるところである。仙台大会の TEE セミナー 2 では上述したような状況を鑑み僧帽弁形成と大動脈弁形成にスポットを当てそれぞれの領域で第一人者の外科医と麻酔科医に講演して頂く。

CPB セミナー

セミナー 1 (基礎講義) : 9月16日 (日) 9:00 ~ 11:00

セミナー 2 (応用講義) : 9月16日 (日) 13:00 ~ 15:00

CPB 会場 白檀 1

セミナー 1 : 新見 能成 (板橋中央総合病院)

川人 伸次 (徳島大学病院 麻酔科)

セミナー 2 : 新見 能成 (板橋中央総合病院)

安田 篤史 (帝京大学医学部附属病院 麻酔集中治療科)

今年も例年通り午前2時間の基礎講義と午後2時間の応用講義+デモンストレーションを企画いたしました。基礎講義では「ポンプ特性と人工肺」「人工心肺と腎保護」に関してわかりやすく講義していただきます。応用講義+デモンストレーションでは「人工心肺とPCPSの安全指針」「自己血回収装置の実際」の2つのテーマで講義に加え実際の操作も含めて参加者に深く理解していただく予定です。皆様のご参加をお待ちしています。

JB-POT 直前コース

9月16日 (日) 13:00 ~ 16:00

第3会場 橘

小出 康弘 (葉山ハートセンター 麻酔科)

例年通りJB-POT直前コースを行います。本年の第9回JB-POT試験は11月11日に開催される予定ですのであと2ヵ月近く時間がありますが、この辺りでビデオの見方や文章問題に出題されやすいトピックを学ばれる良い時期ではないでしょうか。テーマはそれぞれ試験に出題されやすいものを選びました。受験勉強の後半の知識の整理にお役に立てば幸いです。

CPB ハンズオン

9月15日 (土) 9:00 ~ 11:00 / 13:00 ~ 15:00 /

16:00 ~ 18:00

CPB 会場 白檀 1

神経ブロックハンズオン

初心者の部：9月15日（日） 9：00～11：00

経験者の部：9月15日（日） 14：10～16：10

エコー会場 会議室 1、2

佐倉 伸一（島根大学医学部附属病院 手術部）

周術期麻酔疼痛管理・ペインクリニックなどの現場で、麻酔科医が末梢神経ブロックを施行する機会と必要性が増大している。超音波診断装置の進歩とともに近年さまざまな神経ブロックを超音波ガイド下で施行することが可能となり、またその難易度も低下してきた。本ワークショップは、多種の超音波ガイド下神経ブロックの中で一般的なブロック法に焦点をあて、初心者と経験者に必要な知識と技術を学習していただけるように計画した。

エコーハンズオン

午前の部：9月16日（日） 9：00～11：00

午後の部：9月16日（日） 13：00～15：00

エコー会場 会議室 1、2

TEE 領域では毎年若手の育成のためのエコーハンズオンセミナーを開催している。仙台大会でのハンズオンセミナーの特徴はシミュレータを駆使して基礎編と病態編に分けて詳細に解説するところと、インストラクターとマンツーマンに近い少人数制を採用したところである。効率よく初歩から学んでほしいという願いが込められている。是非これからエコーを学ぼうとしている初学者はもちろんのこと経験豊富なインストラクターにコツを学びたいと思う方の受講も歓迎する。